

「学習活動(指導内容・方法)設定シート」について

二つのポイント(児童生徒の生活を捉えることと、児童生徒が「学んだことを生かしている姿」を考えること)を踏まえて学習活動を設定するときに活用できるツールが、「学習活動(指導内容・方法)設定シート」です。年間指導計画や個別の指導計画等を基に、調整・見直しをしながら学習活動を設定することができます。学習活動を設定した後は、単元計画等の指導計画の立案につなげることができます。

年間指導計画, 個別の指導計画等の確認

ツール1 「学習活動(指導内容・方法)設定シート」

シートの上部に個別に設定した学習活動, シートの下部に学級や学年など集団で設定した学習活動を記入します。

指導体制を検討しながら, 児童生徒一人一人が十分に学べる学習活動を設定していきます。初めから個別の学習をすることが決まっている場合には, シートの上部のみを使用することも可能です。

習熟度や発達段階に応じたグループごとに, 児童生徒の個別の学習活動を設定する欄を活用することもできます。

単元の学習活動だけではなく, 本時の学習活動を考えるときにも活用できます。

宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ
学習活動(指導内容・方法)設定シート

【指導の形態】		【単元(題材)名】	【冊数】
【指導の期間】		【学級・学年・学級】	
氏名 (育成を担う資質・能力)	【学んだことを生かしている姿】	【増・人・もの】	【学習活動】
	【学んだことを生かしている姿】	【増・人・もの】	【学習活動】
個別に設定			
【主な学習活動】		【指導体制】	【冊数】
集団で設定			

シートを活用した学習活動の設定

第2章 設定編

シートの活用例や記入例

第3章 活用例編



この後, 単元計画等の指導計画を立案します。
「みやぎ授業づくりガイド」第2章2-47「単元構想シート」や学校ごとに使用している略案等の様式を用いることができます。

